

道外研修 東北コース(1日目)

報告者: 1年A組 笠谷有希 黒島諒貴

私たちは今回この道外研修という貴重な機会に東北地方の宮城県へ行き、様々な体験をしました。今号では、1日目の研修内容を報告させていただきます。



○主な研修内容

- ・ 蕪栗沼 野鳥類の観察
- ・ 化女沼 ガンのねぐら入りの観察

蕪栗沼



観察の様子(左)とオオヒシクイの群れ(右)

蕪栗沼へ行き、沼周辺の野鳥の観察を行いました。この時間は風が強く、少し肌寒く感じましたが、沼にはたくさんのオオヒシクイが見られました。

この蕪栗沼はラムサール条約湿地に登録されていますが、周辺農家の承諾を受け周辺の水田も一緒に登録されていることを耳にして、地域の方の協力なしにこの自然は守ることができないのだと痛感しました。

化女沼



マガンのねぐら入りの様子

宮城県大崎市北部にある化女沼へ行き、ガンのねぐら入りの観察を行いました。日も沈みかけていたこともあり風がとても冷たく感じられました。

いろいろな方角からマガンやオオヒシクイなどが化女沼に集まっていました。水生生物も豊富で、オオハクチョウやマガン、ガンカモ類の重要な越冬地でもあることから、蕪栗沼同様化女沼もラムサール条約湿地に登録されています。